



ペンギんぐみだより

10月

最近の子どもたちの様子

9月もあっという間に過ぎて、暑かった毎日が嘘かのようにすっかり秋になりました。散歩ではセミの声からコオロギの「りりりりり・・・♪」の声になり、虫が大好きなペンギんさんはさっそく捕まえて大騒ぎ。みんなで協力して捕まえたり、「欲しい」という子に捕まえてあげたりと、私たちが見守っているだけで子どもたちから考え、行動できるように成長したんだと感じることがたくさんあります。泣いている子に優しく声をかけてよしよしと頭をなでてあげる。抱きしめてあげる。そんな優しい気持ちが私達にも伝わってきます。もちろん喧嘩もありますが、話し合っ解決できることも増えてきました。生活面でも、いろいろと自分たちでできることが増えました。手洗いやブクブクうがいも、もう自分たちで気付いてできます。

やりたいことも、自分たちで見つけ自分の気持ちを主張できることはとても大切なことです。幼児になってまた一段と成長したペンギんさん。まだまだ甘えたいこともたくさんありますが、一生懸命に頑張っている姿がとても微笑ましく毎日を過ごしています。子どもたちは「天使」です。いつも元気に保育園に来てくれてありがとう。笑顔を見せてくれてありがとう。感謝の気持ちいっぱい過ごしています。



今月の活動予定

涼しくなりました。秋を感じながら散歩にたくさん出かけたいと思います。

ハサミがとても上手になりました。ハサミを使った製作をどんどんしていきます。

園庭では友だちとのごっこ遊び、興味のあることをどんどん見つけてたくさん遊びたいと思います。



運動会について

今年度は、コロナの影響もあり、ホールで各クラスごとに運動会を開催します。内容は

- ・障害物競争（サーキット）
- ・かけっこ
- ・親子ダンス♪

詳しいことは、後日別紙にてお知らせいたします。お子さんのかわいい姿をおたのしみに！！

2021年10月1日 保土ヶ谷保育園

ペンギん組担任

かわいいつぶやき

- ・「あ！これ知ってるよ。ナンニモナイト！」・・・アンモナイトかな？
- ・保「ここ、蚊に刺されちゃったの？」子「違うよ、かがに刺されちゃったの！」
- ・「せんせい、すごい大変そうだね・・・。」
- ・保「〇〇ちゃん、大丈夫？」子「え？今誰の声？」保「先生だよ。」子「なんか、優しい声だった。」
- ・子「ここは髪の毛がぼさぼさな子しか入ったらいけないんだよ。・・・先生はぼさぼさだから入ってもいいよ。」
- ・「先生、今日はお腹がすいてるからヨーグルト食べるの？いつも嫌いだから食べないんですよ？」



いい子とは・・・？

子どもが親のいう事をきく事が「いい子」ではありません。それは親にとって都合のいい子であるだけです。それではいつまでたっても自立の出来ない子になってしまいます。本当の意味での「いい子」とは「将来自立して社会で生き抜くための力を身につけられる子ども」のことです。そのために親がすべきことは先回りをして答えを示す事ではなく、子どもが自ら考え、行動できる機会をつくりたくさんの経験をつませる事が大切だと思います。「失敗をしたってへっちら！」見守ることがとても大切です。子どもを信じてじっくり待ってあげてください。

